

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和4年 3月 1日

事業所名 スタジオそら鷺沼

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切であるか	8	0	コロナ禍の為、大きい部屋には児童3名まで、小さい部屋には児童1名までと制限をしています。時間で区切り、大小両方の部屋を使えるようにしています。	玄関が混雑しないように配慮していきます。
	②	職員の配置数は適切であるか	8	0	子どもの様子や年齢に合わせて、2人体制で療育を行うこともあります。	引き続き、支援の充実を図ります。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	7	1	運動用具は可能な範囲で箱にしまっています。「たいうよう」等のイラストを掲示し、部屋を視覚的に把握できるようにしています。また、手洗い場には手洗いの手順の写真を掲示しています。	構造上、柱が出っ張っている箇所がある為、運動時には衝突しないよう配慮しています。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間になっている。	8	0	毎日、清掃・換気・消毒を行っています。ゴミが落ちていないか、合間に確認しています。空気清浄機や捕虫器を設置しています。	特折異臭がすることがあった為、オゾンを設置し対応しています。
適切な支援の内容	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が参画している	7	1	朝礼、昼礼、終礼を実施しています。互いの仕事を把握すること、効率よく仕事をすることを目的とし、各々1日の予定を発表する機会を設けました。	引き続き、支援の充実を図ります。
	⑥	保護者向け評価表により、保護者に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善に繋げている	8	0	全職員が評価アンケートに目を通します。	内容を確認し、職員間で話し合い改善に努めます。また、必要に応じて本社に相談していきます。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8	0	ホームページで公開しております。	引き続き行っています。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	8		第三者による外部評価は実施しておりません。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	3	社内研修に参加しています。外部研修に参加しています。	外部から研修の案内があった際には積極的に参加し、職員に内容を共有しています。
業務改善	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	8	0	6か月に1回アセスメントを実施しています。	引き続き、支援の充実を図ります。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8	0	共通のアセスメントを使用し、進め方や道具による差が出ないようにしています。	引き続き、支援の充実を図ります。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	8	0	保護者から聞き取りを行っています（困りごと、興味のあること、家庭・幼稚園・保育園での様子等）。聞き取った内容とアセスメントをもとに支援計画の内容を検討しています。	引き続き、支援の充実を図ります。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	8	0	スモールステップで進めています。個別支援計画書とサービス提供記録に必ず目を通してからプログラムの内容を考えています。	引き続き、支援の充実を図ります。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	8	0	朝礼、昼礼時に前回の振り返りを行い、プログラムを立案しています。	引き続き、支援の充実を図ります。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8	0	他スタッフに前回の取り組み方を聞いたり、同じ道具でも使い方を変えて行っています。	療育道具を制作し、充実させていきます。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	8	0	保護者のニーズや子どもの様子に合わせて対応しています。	引き続き、支援の充実を図ります。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8	0	朝礼、昼礼を実施し、前回の振り返りや気を付ける点等を確認しています。	引き続き、支援の充実を図ります。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8	0	お昼と夕方にミーティングを行い、振り返りや保護者と話した内容等を共有しています。	引き続き、支援の充実を図ります。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	0	療育後速やかに記録をとっています。	誰が読んでも分かる内容であるよう、記入の仕方に気を付けています。
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	8	0	モニタリングとケース会議を行い、支援計画の見直しを行っています。	保護者への聞き取りも充実させていきます。	
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	0	8	モニタリングでのやりとりはあるが、担当者会議は行われていません。	今後実施される際は参加を検討していきます。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4	4		現在関係者との連携はないが、今後検討していきます。
	㉓	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0	8		医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害の子どもは受け入れていない為、回答は出来かねます。
	㉔	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0	8		医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害の子どもは受け入れていない為、回答は出来かねます。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8	0	保護者から相談や希望があった際には、幼稚園や保育園の訪問、電話での情報共有を行っています。	引き続き、支援の充実を図ります。

関係機関や保護者との連携	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	3	就学に向けて保護者から希望があった際には、書類を作成しお渡ししています。	就学相談でお話した内容等を伺い、就学に向けて必要なことを確認していきます。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7	1	療育センター主催の研修に参加しています。構音訓練について療育センターの言語聴覚士と連携を取りました。	他事業所での様子を保護者に伺い、子どもの様子を把握していきます。子どもの様子に合わせて関係機関との連携を密にしています。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0	8		今後、検討します。
	29	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	0	8		今後、検討します。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	1	毎回取り組みでの様子を保護者に伝えていきます。希望がある際は、しっかりと面談の時間を設けています。	面談希望がない方にもこちらから話し掛け、子どもの様子について伺い情報を共有していきます。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	1	7	可能な範囲内で家庭内の状況の聞き取りや、相談へのアドバイス等を実施しています。	ペアレント・トレーニングについて、職員の学びを深めています。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	2	契約時だけでなく、変更があった際にもお伝えしております。	全職員が運営規定や利用者負担等について把握し、説明できるようにします。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6	2	アセスメントや普段の取り組み、保護者からの聞き取りをもとに発達状況を把握し、作成しています。面談日を設定し、内容について説明をしてから同意を得ています。	引き続き、支援の充実を図ります。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	1	保護者の様子を気にかけて、積極的に話しかけていきます。話した内容を職員間で共有しています。	引き続き、支援の充実を図ります。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	8		世の中の状況もあり、現時点では父母の会等の活動の実施は難しいと感じております。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	8	0	申し入れがあった際には迅速に対応し、職員間で共有しています。	引き続き、支援の充実を図ります。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	3	毎月そら通信を送付しています。待合室にはお知らせ等を掲示しています。	引き続き、支援の充実を図ります。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	8	0	書類やパソコンは書庫で保管。帰宅時は必ず施錠をしています。	引き続き、支援の充実を図ります。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	0	取り組み後に行った内容や様子を保護者に伝えていきます。情報伝達の際にはメールを活用しています。	引き続き、支援の充実を図ります。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	8	例年そらコンサートを実施し、地域の方にも参加してもらえようとしています。	世の中の状況もあり、現時点では地域の方と交流する機会を設けることは難しいと考えております。
	非常時の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	8	0	毎年、マニュアルを使用して研修を行っています。保護者向けにマニュアルを待合室に設置しています。
42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8	0	地震を想定した避難訓練を職員と利用者で実施しました。伝言ダイヤルの訓練を実施しました。	引き続き、支援の充実を図ります。
43		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7	1	フェイスシート・情報共有シートで把握しています。	予防接種については、今後把握していくか検討します。
44		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	4	フェイスシートやヒヤリハットで確認・把握をしています。	食育活動など、食材に触れることがある時には事前に食材を提示し、対応等を確認していきます。
45		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8	0	終礼時にヒヤリハットを確認しています。必要があれば情報共有シートに記入し、同じことが起きないようにしています。	引き続き、支援の充実を図ります。
46		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	1	研修を実施しています。来所時には保護者に挨拶をし、様子の変化に気が付けるようにしています。	引き続き、支援の充実を図ります。
47		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	7	1	契約時に説明をしています。身体拘束を行った際には、記録に残すこととしています。	引き続き、支援の充実を図ります。

この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。